



19西地34第489号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

耶麻郡西会津町長 山口 博 續



中期的な計画にあたっての意見について (回答)

このことについて、別紙のとおり回答しますのでよろしくお取り計らい願います。

今後の道路政策や道路の整備についての意見

(耶麻郡西会津町)

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・災害に強い道路の整備

【要望の主旨】

本町中心部を横断している国道 49 号線は、正に町民の生活を支えるための基幹道路となっている。

本町の中心部は盆地の地形を呈していることから、会津若松側の入口は「藤峠」、新潟側の入口は「鳥居峠」となっているほか、中間付近には「車峠」が存在している。これらの峠にあっては、いずれも連続降雨量が 150 mm を超えると通行止め措置が実施されている。結果として町への出入りが可能な路線は、喜多方市と結ぶ主要地方道喜多方西会津線 1 路線（その他の路線は山間部道路であり、このような場合は通行不能）のみとなり、その度に町が孤立状態となっている。

150 mm 程度の降雨で通行止めなどしなくて良い、災害に強い道整備を望みたい。

2. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・住民の生活を身近に支えている県道や市町村道など生活道路整備の整備にも手厚い支援をお願いしたい。

【要望の主旨】

直接住民生活を支える県管理国道・県道については、本町のような山間部町村では未だに大半が全幅一車線の未改良路線となっている。市町村道については更に整備が進んでおらず、高齢化が進む中であって介護等の福祉車両が乗り入れできない集落も多く存在している。県も、市町村も財源不足によりなかなか道路整備にまで財源が回らないのが現実である。補助率をアップするなど地方道整備がしやすい環境作りのためにも道路特定財源をまわしていただきたい。